大磯のみどころスポット Vol.9

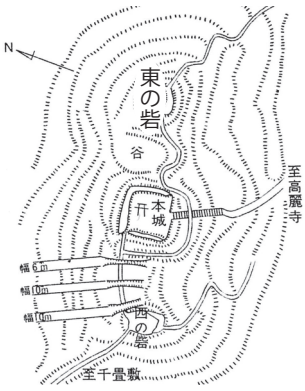
秋涼爽快…だから
まち探検をしよう

＜上杉家の本陣　高麗山城＞　高麗山には典型的な戦国の山城があった!!

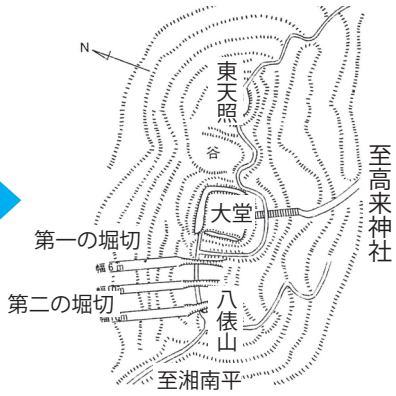
高麗山城、王城山城、小磯城。大磯には3つの城が築かれたことをご存知ですか。

中でも高麗山城は上杉持房が1438年に陣を構えたことに始まり、後々には上杉謙信も本陣を構えたと伝わっています。

標高160mと紅葉狩りにも最適な高麗山に登って、高麗山城跡をあなたの目で確認してみてください。戦国の様子が、あなたの脳裏に浮かんでくるかも…。



当時の高麗山城



現在の高麗山城址

◎問い合わせ　観光推進室　☎内線248　isotabi.com　検索

図は、『神奈川の城』（朝日新聞横浜支局編）より抜粋

大磯の文化財⑨

石造地蔵菩薩立像（西長院）

（大磯町指定有形文化財）

国府本郷に所在する西長院の本尊で、鎌倉時代の作と考えられています。像の高さは148.7cmで、両方の手足先が失われ、頸と胸の部分に継ぎ目があります。全体に風化が目立ちますが、目鼻立ちや、体と衣の表現などに中世の優れた作風をみることができ、鎌倉時代の石仏として、神奈川県下でも屈指の貴重な作例であるといえます。

本像は地域の人々の厚い信仰の対象となっています。信心により受難を逃れたとの説話により、「中丸のお地蔵さん」や「中丸の身代り地蔵さん」などと呼ばれ、親しまれています。

また近世においては説話の内容が転じて、「化け地蔵」や「幽霊地蔵」などとも呼ばれ、東海道の旅人をたぶらかす存在であると考えられたこともあったようです。

本年10月24日（日）と来年1月24日（月）には中丸西長院身代り地蔵尊会主催により、西長院において特別公開が行われます。

▲石造地蔵菩薩立像

◎問い合わせ　生涯学習課　☎内線323

「アオバト」を町の鳥に！ご意見いただきありがとございました！

「日本の渚百選」に選ばれたこゆるぎの浜や県指定天然記念物として知られる照ヶ崎海岸の岩礁の上に、海水を求め集団飛来する「アオバト」を、町の鳥として制定することについて、54人の方からご意見等をお寄せいただきました。

今後は、いただきましたご意見等を参考に、作業を進めていきます。

○賛成の方　53人
　反対の方　1人

○主な賛成意見
- 全国的にもめずらしく、また、海水を飲む姿は美しい。
- 大磯のシンボルとしてふさわしく、歴史ある大磯に負けないくらい魅力溢れる鳥である。
- 新しく展望施設もでき、アオバトの行動を末永く見守ることができたら素晴らしい。

○反対意見
- 北海道小樽市で既に市の鳥に指定しているため。

なお、いただいたご意見等は町ホームページをご覧ください。

◎問い合わせ　政策課内線　☎205